

■インタビュー Interview

議会を終えて 高齢者や若者が元気で 活躍できる市に

議長 よこかわいぶき
横川伊吹さん
(豊科南中)



議長席に座り、最初はとても緊張しました。貴重な経験をすることができました。

私たちの質問に対して宮澤市長をはじめ市の幹部の皆さんも分かりやすく答えてくれました。

今回、市の福祉について知らないことも多く、たくさんのことを学ぶことができました。図書館についても学ぶことができたのもっと利用してみたいです。自然の豊かさはそのまま、高齢者や若者が元気で活躍できる安曇野市になってほしいです。(11月7日)

■提言の反映

これまで中学生議会での提言内容から、反映した事業の一部を紹介します。

文化振興（平成26年度）

「市立美術館・博物館年間行事ガイド」を作成し、学校を通じて小中学生に配付したほか、各施設に配置し情報を発信しました。

議会広報の充実（平成26年度）

議会広報紙の総ページ数を増やし、分かりにくい言葉には補足説明を加え、表紙に市民の皆さんが登場するような写真を採用しています。議会ホームページについては、今まで行っていた定例会本会議のライブ配信に加え、6月定例会から本会議の録画配信を開始しました。

登下校時の交通マナーの向上(平成25年度)

小中学校に自転車の安全利用を促すパンフレットを配布し、平成26年度から小中学校で開催する交通安全教室において、自転車事故の再現などによる疑似体験を通して交通ルール、交通マナーを守ることの大切さを学ぶ取り組みを進めています。



■まちづくりグループ

● ふかさわみき
深澤美貴さん（穂高東中）
みやざわまさこ
宮澤昌子さん（豊科南中）
いしづかもみじ
石塚紅葉さん（堀金中）

せきほのか
関穂乃香さん（明科中）
ささきゆい
佐々木優衣さん（明科中）

市の財政やまちづくりなどについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①人口減少 ②地域活性化 ③高齢者の生活
④詐欺被害対策

私たちの意見・提言

人口減少に歯止めを掛け、活気ある市にするため、空き店舗を活用した商店街の活性化や企業誘致をしてはどうでしょうか。私たちも、10代の若者たちが活性化について話し合う場を設けたり、地産地消に取り組んだりするほか、日ごろから家族や近所の人の会話を増やし、高齢者の生活支援や詐欺被害などに遭わないまちにしていきます。

市からの回答

健康長寿の取り組みなどを通じて、人口の自然減を食い止めたり、市の産業を生かした働く場所を確保したりするなど、10月に策定した市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策を効率よく実施しながら人口減少の歯止めに努めます。また、商店街の活性化へ空き店舗を活用した起業や家賃などの支援を行っています。

雪かきなど高齢者の生活支援については、社会福祉協議会と連携しボランティア会員の増員につながる制度の充実や、民生児童委員やホームヘルパーの訪問、隣近所での「見守り」、「気付き」で高齢者を支え合う地域づくりを進めています。また、消費者トラブルへの情報提供のほか、関係機関と連携して高齢者の詐欺被害防止活動を進めます。



■福祉グループ

● こうのまほ
河野真歩さん（三郷中）
おざわみゆ
小澤美祐さん（豊科北中）
そねはられい
曽根原怜さん（穂高西中）

ふたつぎゆみこ
二木悠美子さん（三郷中）
よこかわいぶき
◎ **横川伊吹さん**（豊科南中）

福祉や介護保険などについて学習し、次の項目について質問や提言をしました。

- ①少子化 ②児童虐待 ③子ども支援 ④健康診断

私たちの意見・提言

市民が少子高齢化について学ぶ機会を設けたり、児童虐待や高齢者の孤立化を防ぐため、子育て中の人同士や、高齢者と若者が日ごろから交流し、相談し合える施設を設置してはどうでしょうか。また、健康で長生きするため、健診の積極的受診も提案します。私たちも近所の人との交流を大切にしていきます。

市からの回答

協働のまちづくり出前講座などを通じ、市や地域が抱える課題を市民の皆さんと共有したり、地域福祉の充実や異なる世代が交流する地域づくりの支援をしたりしていきます。健康長寿のまちづくりの実現に向け、介護予防教室の開催のほか、特定健診、特定保健指導などを通じ健康意識の向上や若い世代からの生活習慣病対策にも取り組みます。

また、子育て世代が交流する公園の整備や、子育て支援について関係する部局が連携し、必要な支援サービスを提供していきます。



■教育グループ

● やまぐちあかり
山口愛花里さん（堀金中）
ふるいちきようすけ
○ **古市恭介くん**（豊科南中）
たきざわあや
瀧澤 文さん（穂高西中）

たにかわこうき
谷川弘樹くん（明科中）
さかいなみき
酒井並木さん（穂高東中）

※瀧澤さんは、当日欠席

学校のことや、市の歴史、文化などについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①文化振興 ②図書館 ③学校教育 ④学校給食
⑤社会教育

私たちの意見・提言

教材の開発や学習支援の場を活用して、子どもたちが市の自然や歴史文化を学ぶ機会を設けたり、食べ残し削減に地域の食材を使い学校給食を提供したりしてはどうでしょうか。また、図書館の積極的な利用や、部活動を充実するための仕組みづくりも提案します。私たちも積極的に市について学び、部活動に取り組みます。

市からの回答

市民が文化に興味を持ってもらうため、小中学生や高齢者を対象に市立美術館・博物館の入館料の無料化をしています。また、スクールサポート事業で地域の人から地域を学ぶ機会を設け、学校給食では「安曇野の日」で地域食材を使った献立を提供しています。

また、読んだ本を記録する読書通帳や図書館フェスタの開催など、本の楽しみや図書館の魅力を伝える取り組みを行っています。部活動については、学校や体育協会、各種競技・活動団体と連携し中学生期のスポーツや文化活動の充実を図っていきます。

